

逆瀬川源流域の山々を歩く(武庫山から)

第 185 回武庫川エコハイク

2022.10.8 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 66km、流域圏面積 580km²。丹波篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川。2級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。本川の源流は丹波篠山市にある。上流から三田盆地までは緩やかな傾斜で流れ、中流道場を過ぎると武庫川渓谷でV字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲変動と同時期にこの地域も隆起し、これに対抗して武庫川が穿刻(センコク)し流路がそのまま残る特異な先行河川である。

JR 宝塚駅 明治 30(1897)年阪鶴鉄道が池田駅から延伸し終着駅として開業。国鉄、JRと引継がれる。

阪急宝塚駅 明治 43(1910)年箕面有馬電気軌道(現在の阪急電鉄)の宝塚駅開業。大正 10(1921)年西宝線(現在の今津線)が開業し接続駅となる。

宝来橋 明治 35(1902)年頃宝塚に初めて架かった橋で以降何度も洪水で流失している。現在のS字橋の前の橋は昭和30(1955)年に完成したがいずれも人道橋であった。現在の橋は平成6(1994)年に完成した。デザインはフランスの彫刻家マルタ・パン氏。同氏の彫刻枠どられた風景が橋の左岸側の袂にある。

湯本台広場 若水ホテル前の公園に「KOBE六甲全山縦走大会」のゴール点と四等三角点がある。

宝塚温泉 室町時代の説話に病にかかった老女が中山寺の観音菩薩のお告げで武庫川右岸の大柳の下に温泉があることを教えられ、塩谷川との合流点近くを掘ったところ温泉が湧き出たという。今の若水近く、泉源の記念碑が建てられ、県道の橋も柳橋という。

塩谷川 岩倉山東側の紅葉谷を源流とする、宝来橋上流で武庫川に合流。一般河川。

宝塚温泉泉源 塩谷川上流紅葉橋の下流付近の右岸にある宝塚温泉の泉源、タンクが 2 基ある。

支多々川 猪谷の上流を源流とし光が丘の登山口から宝梅を通り中洲で武庫川に合流。延長1580m。

行者山東観峰 地域の住民が設定した「ゆずり葉散策路」のピークの一つで眺望がよい。

行者山 標高 415m。六甲縦走路から南にのびる尾根にある。この辺りは岩倉山 488.4m など山岳宗教の印が多い。

瀬戸内海国立公園六甲山地区 行者山の下山路から西は国立公園地区である。

六甲縦走路 六甲山上を宝塚と須磨浦公園まで結ぶ縦走路。約 56 km。

岩倉山 標高 488.4m。山名の由来は「神が座す磐座(いわくら)に由来していると言われている。頂上には地藏尊の祠がある。その前に三等三角点がある。近くに阪急電鉄の通信用の反射板がある。展望よし。

譲葉山 標高(東峰)514m。譲葉山には、西峰、中峰、東峰、北峰と 4 つのピークがある。三角点なし。清少納言「枕草子」12 段「峰は」に見られる。「峰は譲葉の峰、阿弥陀の峰、弥高の峰」とある。それぞれ神、佛、儒の三福対になっている。譲葉には 2 説あり、もう 1 説は淡路島諭鶴羽山ともいわれる。

岩原山 標高 573m。宝塚市にある最高峰、縦走路から少し北へ入ったところにある。六甲山地の山の一つ。瀬戸内海国立公園に属している。頂上からの展望はない。

大谷乗越 乗越は「のっこし」と読み峠のこと。六甲縦走路のポイント。逆瀬川と大多田川の分水界。

逆瀬川 六甲山系太平山南側を源流として花崗岩の六甲山東麓部を流下し宝塚ゴルフ場を經由して宝塚市で武庫川に合流する。武庫川水系2級河川、延長約6. 5km、標高差約200m の急傾斜の河川。川が逆流すると流れが速いことから「逆瀬川」の名前が付いたと言われる。明治年間までは逆瀬川上流地帯は荒山で「千石ズリ」の異名が残るように、雨の降るたびに花崗岩の「マサ土」の禿山から大量の土砂が流れ、下

流は「逆瀬川砂漠」とも呼ばれた。砂防の父と言われる赤木正雄博士(1887~1972)の指導により我が国で初めての治山治水工事が行われた。この特徴は上流から土砂を止め(山腹工:山腹に段を切り客土し植樹)を行った(明治8年~大正6年、今も山中に痕跡が残る)。土石流を防ぐためにダム工(砂防堰堤)を設置した。下流は流路を安定させるため玉石積みの擁壁で固定し、川の急流を抑えるため落差工が設けられている。(流路工、昭和3年~)。明治25(1892)年発生した大水害は六甲山の災害対策に目が向けられ、良元砂防工営所が設置され、明治 32(1899)年上流から工事が行われた。これらの砂防工事は現在のような重機も無く、人力による作業でおこなわれ、これにより昭和 13(1938)年の六甲山山麓大水害にも耐え、その後も水害は起こっていない。

小笠峰(おがさとうげ) 西宮市山口町船坂と同市越水社家郷山の間にある県道 82 号・大沢西宮線の峠。逆瀬川と仁川の分水界

社家郷山(しゃけごうやま) 社家郷は広田神社を中心とする社家郷の持山。社家郷山という名前の山はない。小笠峰、櫻ヶ峰がある。

櫻ヶ峰(かしがみね) 標高 457m。展望よし。南麓に県営六甲保養荘、社家郷山キャンプ場がある。

千石ズリ かつて六甲山が禿山のころ、花崗岩からなる六甲山が木の伐採により禿山になったため、山崩れが多発し、この辺りは一雨千石の石が流れたことから「千石ズリ」と呼ばれている。

焼石ヶ原 千石ズリのひとつで痕跡が残る。

逆瀬川砂漠 逆瀬川の下流部で宝塚ゴルフ場とその下流は「逆瀬川砂漠」と呼ばれ幅は 300mに及んだ。

逆瀬川の砂防 明治 25(1892)年発生した大水害は六甲山の災害対策に目が向けられ、良元砂防工営所が設置され、明治 32(1899)年上流から工事が行われた。

ゆずり葉緑地公園 逆瀬川砂防事業の関連事業として宝塚市が平成2年に完成した。3. 2ha あり、市民の憩いの場となっている。

砂防モニュメント ゆずり葉緑地の一角に県が「逆瀬川砂防学習モデル事業」として平成2年砂防モニュメントが作られ内部には砂防の歴史などについての展示がされている。ゆずり葉緑地に隣接する逆瀬川に種々の堰堤(自然石積堰堤、鎧石堰堤)が設置される。この逆瀬川砂防設備は令和元年度選奨土木遺産。

六甲山グリーンベルト事業 戦後六甲山周辺の宅地開発が進んだことから、土砂災害防止のため国の六甲砂防事務所と兵庫県は「六甲山グリーンベルト事業」を行っている。

白瀬川 行者山の北側から流下する逆瀬川の支流。宝塚ゴルフ場内で逆瀬川に合流する。夏になると蜚が舞う川で親しまれている。白色の風化花崗岩の地形を流れる川の意か。

ゆずり葉の森 白瀬川谷を中心とした「ゆずり葉の森」も「六甲山グリーンベルト事業地」のひとつとして2006年から地元の市民団体「櫻守の会」と兵庫県が「ひょうごアドプト」の協定を結び森の整備にあたっている。兵庫県レットデーターブック 2010 植生群落里山林 C ランク。

櫻守の会 里山整備ボランティアグループ「櫻守の会」は平成 11(1999)年桜の園「亦楽山荘(えきらくさんそう)」開園を機に結成され、桜の園を初め市内 5 箇所(桜の園亦楽山荘、山手台緑地、ゆずり葉の森、青葉台の森、武庫山の森)で月 8~9 回の里山整備活動を行っている。次世代の子どもに伝えるため毎年ゆずり葉の森などで小学 3 年生の環境体験学習を実施している。

宝塚ゴルフ場(宝塚ゴルフ倶楽部) 大正 15(1926)年宝塚右岸の住宅開発などを行った平塚嘉右衛門などによって宝塚ホテルの社交の場所として宝塚倶楽部が設立された。その中にスポーツを楽しむ同好会が作られ当時果樹園だった今の宝塚ゴルフ場の南東に3ホールが造られたのが宝塚ゴルフ場となった。